

親子聖書日課

NO.1667 2020.9/6-12 名前

[日]神を第一としない人は、発情期の動物のように、自分を抑えることができず、物やお金に頼り、不品行の道に走ります。人の忠告も聞かず、「自分は罪などない」と言います。こんな人が沢山いると、教会はだめになります。神第一に生きよう！

[月]主を信じていながら、いつの間にか「背信の女」イスラエルのように、他のものを神として拝んでいませんか。主よりも、仕事や付き合い、遊びが大切になり、主を喜ばないのです。「私に立ち帰り」と主は招いていますから、今すぐに応えましょう。

[火]主はどれほど不信仰な者でも救いに招かれます。「私は背いたお前達をいやす」とは、何と深い主の愛でしょうか。幾度罪を犯す私達をも、主は赦して下さるのです。この愛に答えて、主の下に立ち帰り、罪を告白して、御言葉に聴従しましょう。

[水]救われるためには「心の悪を洗い去る」必要があります。しかし、「いつまでも、よこしまな思いを宿す」ほど、罪は自力では解決できません。ただ主の十字架の血潮によって清められます。神は悔い改めない心を、エレミヤ以上に嘆かれます。

[木]主はどんな時にも、「恵みの雨」を私達の人生に降らせ、豊かな霊の実を結ばせてくれます。しかし、罪を犯す時、恵みの雨は止み、心は砂漠のようになります。「主なる神を畏れ敬おう」とは、御言葉に聴従し、神第一の生活を送ることです。

[金]預言者は、国が滅びようとしているのに、警告を与えず、「平和、平和」と唱えました。真の平和は、危機を認識し、悔い改めることから生まれます。それは単なる安心や気休めではありません。今の時代こそ、主による平和を語るべきです。

[土]精錬しても不純物が除かれなかったように、主の審判の火によっても民の悪は除かれませんが、心が頑なで悔い改めない人は、罪の赦しを経験できず、罪責感に苦しみます。「捨てられた銀のかす」と呼ばれないように、今すぐ悔い改めましょう。



	聖書	問題	答え
日	エレミヤ 2:20-37	「私は罪を犯していない」と言うなら、どこに引き出されますか。	
月	3:1-18	背信の女イスラエルよどうせよと、主は言われますか。	
火	3:19-4:4	主は背いたお前たちをどうされますか。	
水	4:5-31	あなたの心の悪をどうして救われよと、主は言われましたか。	
木	5:1-31	お前たちの咎が、何をとどめましたか。	
金	6:1-15	偽預言者たちは何が無いのに「平和、平和」と言いますか。	
土	6:16-30	捨てられた何と、彼らは呼ばれましたか。	
感想と祈りの課題			